

「2011年10月1日から2016年9月1日の間に冠動脈ステント留置術を受けられた患者さんへのお知らせ」

課題名：冠動脈側枝入口部ステントストラットの新生内膜被覆に関する検討

当教室では川崎医科大学・同附属病院倫理委員会の承認を得て、2011年10月1日から2016年9月1日の間に冠動脈ステント留置術を受けられた患者さんを対象として、検査・治療当時のデータを集めて冠動脈ステントが、慢性期に側枝入口部の血流に与える影響を明らかにする研究を実施します。本研究の目的は、冠動脈ステントを留置後に生じる新生内膜による被覆が、冠動脈の側枝入口部の狭窄を誘発し、側枝の血流障害をきたすかどうかを明らかにすることです。本研究では既存資料のみを用いた研究であるため、新たな試料の採取は行いません。また、個人が同定される情報は収集いたしません。この研究を実施する関係者にはアクテリオンファーマシューティカルズジャパン株式会社・大塚製薬株式会社・バイエル薬品株式会社・第一三共株式会社・田辺三菱製薬株式会社・アストラゼネカ株式会社・ファイザー株式会社・MSD株式会社・アステラス製薬株式会社・大日本住友製薬株式会社・持田製薬株式会社・塩野義製薬株式会社・サノフィ株式会社より奨学寄附金の受け入れ及び、武田薬品工業株式会社・日本ベーリングアイングルハイム株式会社・ブリストル・マイヤーズ株式会社・第一三共株式会社より報酬・謝礼・原稿料などの受け入れがあるが、利益相反委員会に申告を行い適正に管理しております。なお、上記企業は、本研究課題には直接関係のない企業です。研究結果は学会や学術雑誌に発表することがあります。しかし、匿名化を行った後に解析されますので、個人情報が外部に漏れることはありません。また、資料の取り扱いは当教室のみで行い、外部に提供されることはありません。ご質問のある方、詳しいことを知りたい方やデータを使用されたくない方は下記までご一報くださいますようお願いいたします。

問い合わせ先：循環器内科学

久米 輝善

電子メール：tteru@med.kawasaki-m.ac.jp

TEL：086-462-1111（内線：44222、25518）

FAX：086-464-4060